

# 八鹿病院ニュース

平成20年1月 発行／八鹿病院広報委員会 <http://www.hosp.yoka.hyogo.jp/>

## 公立八鹿病院基本理念

『私たちは、地域中核病院として、医の倫理を基本に、質の高い医療と優れたサービスをもって、住民の健康を守り、地域の発展に尽くします。』

## 新年のご挨拶



管理者 梅谷 馨

新年あけましておめでとうございます。ご家族おそろいで良い年をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。また、皆様方には平素から病院運営とりわけ診療体制等に温かいご理解とご協力を頂いておりますこと厚く御礼申し上げます。

さて、当病院の昨年を振り返りますと、長年の念願でありました新病院が竣工するという大きな喜びがあった反面、元職員の不正事件が発覚する等病院が深い反省をしなければならない一年でもありました。

今年は何としても病院本来の目的である「地域の皆様方により良い医療を提供する」事のみに邁進できる年であればならないと決意しております。そのことが、平素ご支援頂いております皆様方のご恩にお応えすることになると考えています。

ところで、皆様方ご承知のように医療を取り巻く環境は依然として誠に厳しい状況にあります。新医師臨床研修制度の導入に端を発した医師不足は地域の病院を一段と窮地に追い込んでいます。当院も医師確保の専任担当者を置くなどしてこの状況に全力で取り組んでおりましたが、地域医療講座の開設など大学の協力、県当局、県及び養父市医師会等のご支援を得て明るい兆しもみえていたところですが、この状況も何時一変するか分からないという危機に隣接しているのが実状です。

新しい年に向かい「やさしさと思いやりのある病院」を合い言葉に安心安全な医療サービスが提供できるよう全職員一丸となって努めて参りたいと考えます。皆様方には変わらぬご理解を賜りますようお願い申し上げます。

今年一年が皆様方にとりまして健康ですばらしい年になりますようお祈り申し上げ、新年の挨拶といたします。



## 但馬の医療事情



院長 岩井 宣健

今、但馬の医療環境は大変厳しいものとなっています。病院勤務医師の減少によって、今までの医療が行えなくなっています。そのうえ、医療の進歩は新たな知識の吸収と更なる人手を必要としています。

この医師不足の原因ですが、医療は進歩を続けており、医療の細分化、専門分化が進んだ結果、一人の医師が多くの領域を診ることは困難となりました。より多くの医師が必要でありながら、国は最近まで医師の削減策を進めてきました。

そして、それに追い討ちをかけたのが、2004年から始った医師の臨床研修制度です。これによって、医師は大学卒業後は臨床研修を含めて自分の進路を自由に選択できるようになりました。結果、一般的に地方の大学は敬遠され、都市部の病院に研修医が集中しました。今問題なのは、医師の絶対的不足は勿論のこと、医師の偏在、地域隔差の拡大が地方の医療を疲弊させているのです。さらに、開業の増加や労働が厳しくリスクの高い産婦人科や脳外科志望が激減している現状もあります。この厳しい状況はまだ当分続くことでしょう。

現在八鹿病院では、医師会の先生方の協力の下、日曜日の病院の日直業務を担当して頂いており、地域の全医師が力を合わせて医療を守っているのが現状です。

医師確保のためにあらゆる方策が求められますが、重要なのは病院は勿論、地域をあげて医師が来てもよいと思うような環境を作ることだと思います。



# 先生のご紹介 (平成19年着任)

(順不同)



佐々木勇二先生  
(眼科)

音楽(Rock)、PC(Mac)、スケートを愛好し網膜疾患が専門です。よろしくお願ひします。



木下 直樹先生  
(内科)

若輩者でいたらない点はあるかと思いますがよろしくお願ひします。



越村 公義先生  
(歯科)

「傾蓋旧の如し」の故事に習い、気軽に質問して頂き、安心して受診して頂けるよう努めてまいります。



木谷 茜先生  
(内科)

大屋町大杉の出身です。臨床経験が浅く、まだまだ未熟ですが、よろしくお願ひします。



木内 誠先生  
(産婦人科)

絶滅危惧種の産科医です。但馬での生息数は野生のコウノトリより少なく、気をつけて。



島田ひかる先生  
(内科)

高槻日赤病院から転勤してきました。八鹿は20年ぶりです。よろしくお願ひします。



庄司 孝子先生  
(産婦人科)

鳥取大学を卒業し久しぶりに地元に戻ってきました。よろしくお願ひします。



牧野 晴彦先生  
(内科)

昨年10月より、鳥取大学の地域医療講座の一員として赴任しました。八鹿病院の一員としてがんばります。



神部 敦司先生  
(脳神経外科)

鳥取大学病院より赴任してきました。手術症例を多く経験できればと思っています。



高木 信明先生  
(小児科)

子供達の笑顔を守るため、疾病の種類を問わずに対応致します。何なりとご相談下さい。



加藤知恵子先生  
(内科)

10月からお世話になっています、加藤です。よろしくお願ひします！

## ホームページリニューアル作業中

八鹿病院がホームページを公開してから、約10年が過ぎました。現在は、公開した当時に比べ、インターネット環境が大きく変わり、誰でも容易にホームページを閲覧することが出来るようになります。このたびより多くの人に新しくなった八鹿病院を知っていただくために、ホームページを新しくします。特にホームページを見る方にとって、有用な情報を、素早く検索出来るように考えて、八鹿病院のホームページを、「診療の案内」、「お見舞い」、「病院の紹介」などの目的・希望に応じて、情報を検索しやすいようにします。そして地域の保健・医療情報を集約して、但馬内で行なわれる研修会や患者会、病気予防などに関する情報源として活用できるようにしていきたいと思っています。また初めての取り組みですが、ホームページを利用して、入院患者さんへお見舞いメールを出すことが出来るよう準備中です。今後も、有用な情報を掲載したホームページとなるよう考えていきたいと思ひますので、何かお気づきな点がございましたら、ご意見をいただきますようお願いいたします。

